

中尾小だより

〒336-0932 さいたま市緑区中尾 2596-1

HP <http://nakao-e.saitama-city.ed.jp> TEL: 048-873-0216 FAX: 048-810-1120

学校教育目標
知・徳・体の調和のとれた
心豊かな児童の育成

「ある夏の日の記憶」

校長 小長谷 雅彦

入学、進級から1か月が過ぎました。ポストコロナに向けて、世の中も学校生活もかつての日常を取り戻しつつあります。4月は新しい出来事がいっぱい、ともすると、がんばった子どもたちの中には、ゴールデンウィークに生活のリズムなどを崩し、学校に適応できなくなる子どももおります。そんな時は、担任、学校と連携・相談しながら、ともに問題解決に努めましょう。ともに障害となることを取り除いたり、一人で乗り越えさせたりしながら、困難なことやいやなことを克服させ、自信をもたせ、心豊かでたくましい子どもをはぐくんでまいりましょう。5月は暑さも増してくる中、月末の運動会に向けて各学年の練習も始まります。お子様の体調管理への配慮もよろしくお祈りいたします。

さて先日、1年生の下校に付き添う中で、中尾神社を見つけ境内に入ってみた時、その景色から半世紀前のある記憶が鮮明に蘇ってきました。

小学校1年生の私は、夏の日の夕方、友だちと3人で虫捕りをしていました。お目当ての虫になかなか出会えず、林を転々としていた私たちは、ある神社の境内に来ていました。木を蹴ったり、蜜の出ているところを探したりしましたが全く捕れず、あきらめて帰ろうとしていたとき、背後から大きな犬が吠えながら私たちの方に走ってきました。(当時は犬の放し飼いも結構あった時代で、怖がりの私は、知らない犬など触ることはできませんでした。) その大きさとスピードに私たちは急いで逃げ出しました。それぞれ3方向に逃げたのですが、運悪くその犬は、私の方に向かってきました。足には自信のあった私でしたが、犬のスピードには敵いません。見る見るうちに近付いてきてもう少しで襲われるというときのことです。無意識の中、私は足を止め、振り返り、犬に向かって大きな声で「ワン」と叫びました。犬も私の必死の形相にびっくりした様子で立ち止まり、その後、去っていきました。今振り返ってもどうしてそんなことができたのかは不思議なのですが、人間いざとなるとできるものなんだと小学生ながらに思い、自分に自信をもつきっかけとなった出来事でした。

中尾神社の境内が、私の体験した神社と似ていることで記憶が呼び起こされたのでしょうか。

明日からのゴールデンウィーク。遠出の予定のない方、近場でも何か発見があるかもしれません。私も約50年ぶりに実家近くのあの神社に行ってみようと思っています。

